

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	デイサービスちよだ（児童発達支援）			
○保護者評価実施期間	2025年3月1日 ～ 2025年3月20日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12（うち兄弟児を含む13）	(回答者数)	5
○従業者評価実施期間	2025年3月21日 ～ 2025年3月27日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	（うち発達センターちよだ含む）	(回答者数)	
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月27日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	生活年齢のクラス編成で子どもたち集団が、毎日同じ友達、同じ担任の先生で過ごす中で、子どもたちが安心して生活して、あそび、発達していける。	担任だけでなく、複数の職員が関わることで、子ども理解を広げている。また、職員会議を通して、様々なケース検討を行っている。	実践記録を丁寧に作りながら、外部に発信したり、交流する機会を設けて、よりよい療育ができるように研修や学習する機会を設けていく。
2	広い園庭で子どもたちが思う存分あそぶことができる。	園庭での取り組みが固定化されないようにしている。また、遊戯室や各クラスでのあそびの充実を図っている。	園庭でのあそびや、地域での遊びが充実していくために、保育者が実際にあそび、体験できるプログラムを考えていく。
3	保護者と密に懇談をしたり、実際に子どもへの関わりやあそびを楽しむことで、我が子理解を広げていく。	保護者支援プログラムの実施や保護者会の組織、研修をしていく中で、縦と横の関係づくりをしている。	外部の講師もお招きし、最新を情報や正しい情勢を学習し、保護者の方へ提供していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流、園庭開放の機会を広げていく。気軽に相談したり、あそびに来れる施設づくり	地域交流や園庭開放でも、堤防が近く、園庭であそんでいる子どもたちに声をかけてくれる方は多いけれども、どのような施設かが分かりにくいとため、地域開放と園庭開放を行いながら、地域に根差した施設づくりを行っていきたい。	新しい療育センターづくりも含めて、毎月の土曜日において、園庭開放を行い、誰でも相談しやすい施設づくりをしていきたい。
2			
3			

公表事業者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 デイサービスちよだ（児童発達支援）

公表日 2025年3月17日

利用児童

数 1 3 名 2025年3月17日

回収数 6

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからな い	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備 備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	100					保育室を広げる工事を実施しています。 2025年度より保育室を新たに建築します。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	100					今年度は児童発達支援管理責任者の欠如があり、大変ご迷惑をおかけしました。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	83.3	16.7				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100					保育室を広げる工事を実施しています。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	100					2024年度より、各クラスにおいて支援プログラムを保護者に伝えています。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100					引き続き個別支援計画を立案を多職種で実施していきます。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	100					職員も改めて、児童発達支援ガイドラインを学習します。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100					発達センターちよだと連携を図りながら、一緒にプログラム活動案を検討していきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	100					発達センターちよだと連携を図りながら、一緒にプログラム活動案を検討していきます。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	33.3	16.7	50			必要性の有無について、保護者の皆さんと検討します。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	66.7	16.7	16.7			
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。						
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。						基本は親子療育を実施しています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	83.3		16.7			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	83.3		16.7			定期的に保護者懇談を実施していきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	83.3	16.7				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	66.7			33.3		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	83.3		16.7			
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	83.3		16.7			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	50	16.7		33.3		
非 常 時 等 の 対 応	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	83.3	16.7				
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	66.7			33.3		保護者の皆さんにいつでも開示できるように準備してあります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	83.3			16.7		保護者の皆さんにいつでも開示できるように準備してあります。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	100					保護者の皆さんにいつでも開示できるように準備してあります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	66.7	16.7		16.7		病院受診のマニュアルを作成し、怪我等がある場合は、今後も医療受診を行っています。

満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	83.3	16.7				利用されるすべての方が安心して生活できる環境を、プログラム、職員育成を図っていきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	83.3	16.7				
	29	事業所の支援に満足していますか。	83.3	16.7				

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

児童発達支援管理責任者 小沢佐季

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	デイスサービスちよだ（放課後等デイスサービス）		
○保護者評価実施期間	2025年 3月 1日 ～ 2025年3月20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2027年 3月 21日 ～ 2025年 3月 27日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者の直接送迎をしていただいていることにより、直接話せる機会を多く持つことが出来る。学校や家庭の様子を聞くことができ、その日の支援につなげることが出来る	必ず毎回の送迎時間に懇談を各職員で行い、子どもの理解を深めています。	保護者の方の意見しか聞けていないため、来年度は関係機関（学校、他利用事業所）との連携を図り、ケース検討と子どものよりよい支援を検討していきます。
2	子どもたちが安心して過ごし、来ることを期待している。	活動内容を月間または週によって、子どもも保護者も活動内容やプログラムを立案していきます。	職員会議を積み重ねていく中で、子どもにとってよりよい支援を行っています。
3	園庭があることで、活動の幅を広げることが出来る。	園庭でのプログラム内容の充実を図っていきます。	園庭だけのプログラムとならないように、室内でのプログラムの充実も図っていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	園庭があることで、防犯上の配慮の範囲が大きい。	防犯訓練を様々なパターンで実施していきながら、防犯、防災訓練を適宜行っています。	防災・防犯訓練を当施設だけでなく、警察の方にも来ていただき、防犯訓練等を実施していきます。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 デイサービスちよだ（放課後等デイサービス）

公表日 2025年3月27日

利用児童
数 27家庭

回収数 15

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	86.7	6.7		6.7	園庭と部屋の近さがあるので、圧迫感なくのびのびと過ごせている。 園庭が広いのでうちの子は楽しくすごせている自由に動き回っている様子がよく見られます。	園庭も含め、活動スペースはプログラムにより分けて活動しています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	80	6.7	6.7	6.7		子ども3人に対して1名の職員（保育士・児童指導員）を配置しています。今年度は3か月程度児童発達支援管理責任者が不在となりました。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	53.3	33.3	6.7	6.7	施設自体が老朽化しているので、バリアフリー化という点では評価が難しいです。清掃等は行き届いていて清潔感があります。 建物は古いのが、掃除が行き届いていて綺麗に保たれていると思う。バリアフリーについてもできていると思う。 トイレが暗い、寒い。バリアフリーではないし、情報伝達の配慮も視覚支援はあるが時間的な区切りのリミットが見える化できていないように感じる。	2025年度から、保育室を変更していきます。子どもたちが過ごしやすいように環境設定をしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	53.3	33.3	6.7	6.7		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	86.7	13.3			就学前からの繋がりがあるので、こども一人ひとりへの理解は十分だと思います。 デイの回数が少ないためフィードバックが大切になると思いますが、個別支援計画に沿ったフィードバック、支援内容のフィードバックが書類に内容記載いただいていた頃とほとんど変わらない情報量なので支援者が客観的分析をどこまでしているのか保護者と共有できていないように感じる。 こどものことをよく見て下さり親でも気づけない視点から支援をいただいていると思います。	子どもたちの学年齢にも合わせて、あそびを发展させたり、計画的なプログラムを実施します。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	86.7	13.3				
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	86.7	13.3			具体的な支援内容を設定しているのであれば明示してほしい。それに応じて評価したいと思う。 こどものことをよく見て下さり親でも気づけない視点から支援をいただいていると思います。	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	73.3	13.3	13.3		困り事などをしっかり聞いて計画をしていただき助かっています。	放課後等デイサービスガイドラインに何が記載されているのか、何を大事にしていくのかを改めてスタッフで学習する機会を作ります。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	60	20	20			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	80	6.7	6.7	6.7	バラエティに富んでいる ほとんど散歩と買い物、クッキングをしている印象。 身体を使った遊びが少ないように感じている。(自由遊びの時間で確保はされているが、プログラムとしての設定がない) 季節の行事やこどもの興味に寄り添って活動していると思います 今日はなにをするかな？と子供自身も楽しんで通えています。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。		60	6.7	33.3	なくていい その交流は特に希望していません。 きょうだい児さんや、障がいのない子とも交流できると嬉しいです。	今回の意見を伺い、どうあるべきがいいか確認していきます。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	86.7		13.3		説明はあったが、丁寧ではない。また、管理者が不在であったことを年度末近い時期にはっきり説明された印象がある。 いつも丁寧に説明していただきありがとうございます。	
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	93.3		6.7			

保 護 者 へ の 説 明 等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	73.3	26.7			研修会や交流会の開催案内はいただくが、平日の難しい時間にのみだったので参加は不可能でした。先生方も忙しい中そういう機会を設けていただきありがとうございます。今年度参加できる機会がなかったのですが、機会があれば参加したいです。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	100				送迎の際に、様子をしっかりと伝えてもらえています。	送迎時に子どもの姿を伝えあい、子ども理解を進めています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	80		20		困りごとがあれば相談に乗ってくださる学校での様子も聞いていただけるので、都度悩みを相談したりアドバイスをいただけてありがたいです。	相談を受けた場合に時間や場所を設けたり、困っていることに対してその都度丁寧に保護者の方と懇談をしていきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	86.7	13.3			嬉しい出来事は一緒に喜んだり笑ってくれる。いつも温かく見守っていただいています。デイ以外の職員さんもたくさん声をかけてもらえて子供も嬉しそうです。	相談を受けた場合に時間や場所を設けたり、困っていることに対してその都度丁寧に保護者の方と懇談をしていきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	60		13.3	26.7	保護者会というのは開催がないですが、研修会等で横の繋がりはあると思います。	保護者の方のニーズも捉え、横のつながりや縦のつながりを作っていけるプログラム作りを実施していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	66.7	6.7	6.7	20		苦情対応の体制は整備をしています。今後も適切に対応ができるようにしていきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	80		13.3	6.7		おたよりの配布については、きずなネット機能を活用していきながら、各家庭に迅速におたよりを届けています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	80	6.7	6.7	6.7		ホームページ等も利用しながら、保護者の方に周知していきます。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	80		13.3	6.7			
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20	13.3	6.7	60		保護者とともに防災訓練を実施していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13.3		6.7	80		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	40	26.7		33.3	園庭などオープンな場所もあるので、安全の確保という点では少し不安があります。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	40		6.7	53.3	実際に事故等の経験がないので不明です。ただ、日頃の様子から迅速に対応して頂けるという信頼感があります。この状態になったことがないので判断できない	
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	93.3			6.7	家で過ごしているかのような振る舞いをしています。それを見守ってくださるおかげで安心して通うことができています。毎週楽しみに通っています。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	93.3		6.7		「今日はちよだの日だよ」の一言でその後の準備や行動がとてもスムーズです。言葉にはできませんが楽しみにしていることは明白です。学校以外のお友だちに会えるのがとても楽しみなようです。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	80		13.3	6.7	こどもだけではなく親も助けてもらっています。ありがとうございます。いつも子どもに寄り添った支援をしていただきありがとうございます。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2025年3月27日			
ディサービスちよだ					
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100		棚やおもちゃ棚が室内設置になったこともあり、スペースは適切である	2024年度末より工事を実施し、新たに保育室を建設している。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	93.3	6.7	職員が増えると余裕を持って保育ができると思う。 適当であると思うが、とりくみや子どもの姿から見ると、人員がほしいと感じることはある。	市基準以上の職員配置を行っている。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	46.7	53.3	バリアフリー化されていない。内線がないので連絡が取りづらい。 手すりなどはない。構造化は、目で見てわかる形にはなっていないが、場所は決めている。 部屋の構造上仕方ないですが、保育室のなかの生活空間と遊びコーナーをはっきりさせられるといいなと思いました。また、年齢や発達にあったおもちゃが保育室にあればいいのにも思っています。トイレの便器の使い分けやそこまでの視覚的誘導もなかなか形になっていなかったように思います。	2024年度末より工事を実施し、新たに保育室を建設している。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	92.3	7.7		引き続き丁寧な掃除を行っていく。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	78.6	21.4		
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100		パートさんと組んでいるが、その点については曖昧な部分が多いように思う。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100		日々の中でも話す機会を大切にして、意見を受け付けている。 評価を実施した後に意見をみんなで共有している。 職員会議で、評価と業務改善を全員で確認している。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	84.6	15.4		2024年度より第3者評価を受けている。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	100		必要に応じて研修への参加が促される 年に何回か研修に出してもらっている。 法人内での研修やちよだ独自の研修もやっている。 外部の講師を呼んで研修を行ったり、子どものケース検討を通して子ども理解を深めたりして、職員の質を高められるようにしている	引き続き、その年の保護者や子どもの状況に合わせて、保育技術の向上を図る研修を実施していきたい。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100		アセスメントの時間を設け、現在の姿も確認しながら行っている。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100		意識して書いているつもりだが、書き方についての学習は必要だと感じている。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100		適宜計画を見ながら支援をしている 他クラスの共有機会があるといい	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	64.3	35.7		標準化されたアセスメントツールは使用していませんが、共通の発達の票を使ってケース検討を実施している。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100			ガイドラインに沿った支援を行っているが、職員の中には児童発達支援ガイドラインに目を通せていない職員がいる、今後は年間通しての学習を検討していきたい。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100		日々一緒に組んでいる職員にまず自分の意見を伝えつ、意見や案を求めて考えている。 月に一度にクラス担任で会議を行ったり、全体の職員会議に於いても全体で確認する場を作っている。	今年度よりコロナ禍以前の行事の復活させたり、新たに始めた行事を作り、活動内容も、季節や文化を意識して、引き続き作ってきたい。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100		その時の季節や伝統を伝えられる行事、あそびづくり 会議などで話し合いしながら工夫している	引き続きちよだに通う家族のニーズと私たち職員が経験させたいことを明らかにしつつ、様々なプログラムを立案していきます。
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100		個別のねらい、集団としてのねらいの視点を持って作成している。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	93.3	6.7	毎回子どもたちが来る前には職員が集まり、話す時間を作り、確認している。	基本的には支援開始前に打ち合わせ時間が確保されているが、送迎等で全職員がそろっているわけではない。支援終了後の振り返り時間も有効に活用し打ち合わせを行っていく。
関係機関や保護者との連携	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100		毎回ケースを行っているが、時間は足りないときはある。 全員が嫌わない日や、ケースとして時間を作れない時もある。	様々な業務も重なっているが、全員が集まらなくても、職員間の連絡ノートも作成しながら実施していきます。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	93.3	6.7	毎回日誌を書いて、要点は書き留めている。	
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	93.3	6.7	支援計画を作成する中でも、担当する以外の職員とも確認するようにしているか、不十分な時もある。	
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	92.9	7.1		
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	86.7	13.3	学齢期の子どもたちに対しては不十分だと感じている。	
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100			
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 (28～30は、センターのみ回答)	92.3	7.7	来年度新しい集団へ移っていく子達に対しては、引き継ぎ表等の作成を行う予定である。	
	28 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	100			
	29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	100		いろいろな施設の職員と一緒に研修を受ける機会がある	
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。 (31は、事業所のみ回答)	100			
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	92.3	7.7	交流保育をしている	今年度より、年中児は守山保育園との交流保育を行った。
	33 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100		保護者と週1度あって話している デイの随所時には今日の姿も含めて、話をするようにしている。	
	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	73.3	26.7	保護者への研修を行なっている	ペアレントトレーニングという名称では実施していないが、親子通園期間、親子通園日を設け、親子のより良い関係を築いていけるよう支援を行っている。また、個別OTを年2回実施し、個別での保護者相談も実施している。

保 護 者 へ の 説 明 等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	93.3	6.7	親子登園日や、必要であれば懇談などを通して行っている	引き続き、保護者の方々と懇談や家庭訪問を積み重ねていきながら、子どもに関わる専門的な意見を伝えていきます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	85.7	14.3	一緒に行事に向かっている。	デイサービスちよだにおいては、保護者会をコロナ禍において実施できていない経過もあるため、再度組織作りについて検討をする。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	93.3	6.7		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100		会報やホームページ等で発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100		配慮の仕方をより、学習していきたい。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	92.9	7.1	園庭開放を実施している 夏祭りなど、地域向けに向けた行事の開催	今年度より毎月土曜日に地域の方を対象に園庭開放の事業を行った。地域の方が初めて、ちよだの園庭であそぶ親子も多かった。
非 常 時 等 の 対 応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	78.6	21.4		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	78.6	21.4		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100		発作状況表など作成し、提出してもらっている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	93.3	6.7		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	80	20		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	86.7	13.3	ヒヤリハットを書く表はあり、書くことができる。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100			今年度障害児虐待防止でCAPNAの方に来ていただき、実施した。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	81.8	18.2		障害者権利条約、子どもの権利条約についても引き続き学習を進めていきます。